

(学年) 2 学年, (教科・科目) 家庭・フードデザイン

一斉学習

(単元) 調理と献立

(本時のねらい)

- ・食品の廃棄率と購入量の計算方法を知る。
- ・食品ロスを踏まえ、「とくしまエシカルタウン」でSDGsを理解する。

(ICT活用方法)

食品の廃棄率と購入量の計算を説明するために、電子黒板を用いて説明する。

板書時間を短縮でき、説明時間を多くとれる。さらに生徒に解答の導き方を解説してもらい、正答を共有でき理解しやすくなる。また、電子ペンで説明を加えることができる。

「とくしまエシカルタウン」を電子黒板に映し出すことで、動画やSDGs 17の項目を視覚的に学ぶことができるようにする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方
導入 5分	・本時の学習内容と目標を知る。	・本時の学習内容と目標を示す。	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の内容を振り返り、食品の廃棄率と購入量の計算方法を知る。 ・さまざまな食品の廃棄率や購入量を知ること、食品ロスを理解する。 ・「とくしまエシカルタウン」内のSDGs 17の項目のクイズに挑戦し、意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄率と購入量の計算方法を示し、説明する。 ・複数の例題で計算方法を理解させる。 ・SDGs 17の項目特に12のつくる責任つかう責任について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄率と購入量を算出する公式と例題を電子黒板に提示する。 ・「とくしまエシカルタウン」を映し出し、6つに分けられたコンテンツを紹介する。 ・SDGsクイズで興味を深める。
まとめ 10分	・本時まとめを聞く。	・検定への学びは、SDGsにつながることを説明しまとめとする。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

- ・ワークシートを電子黒板に映し出すことで，黒板より生徒の集中力が高まった。
- ・計算の解説を電子黒板を使って生徒にさせることで，授業に参加する意欲が見えた。
- ・資料やワークシートを一部を拡大提示することができるため，理解してもらいやすい。
- ・今後，その他の単元でも，生徒のワークシート等を映し出し発表する機会を多くする。
- ・資料を多く提示し，視覚的に伝えられるようにしたい。